

できることから行動。安心して暮らせるために！

高塚川流域浸水対策アクションプラン



高塚川の成り立ちや、浸水被害が発生しやすい地域の特徴を理解し、みんなで浸水被害の減少に取り組みましょう。

近年の浸水被害状況

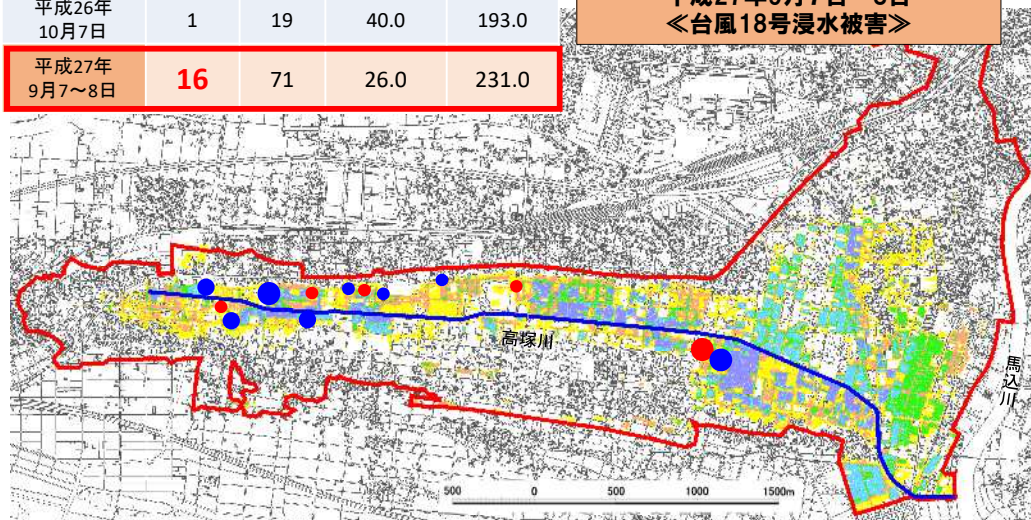
高塚川流域では、地形的な要因、宅地化、局地的豪雨の発生などにより、近年浸水被害が発生しています。

降雨 (発生日)	浸水被害		最大時間 雨量 (mm)	総雨量 (mm)
	床上 (戸)	床下 (戸)		
平成16年 11月11～12日	6	96	64.0	199.0
平成22年 11月1日	1	0	34.0	95.0
平成26年 10月7日	1	19	40.0	193.0
平成27年 9月7～8日	16	71	26.0	231.0

浸水深	
0.25m未満	
0.25m以上0.5m未満	
0.5m以上0.75m未満	
0.75m以上1.00m未満	
1.00m以上	

戸数	床上	床下
1～5	●	●
5～10	●	●
10以上	●	●

平成27年9月7日～8日
《台風18号浸水被害》



アクションプランとは

浸水被害に対する抜本的な河川改修には、膨大な費用と時間を要するため、被害軽減に向けて河川・農地・下水道・都市計画・道路・公園などの各行政機関と住民が協力して**緊急に実施する行動計画がアクションプラン**です。

計画は、PDCAサイクルにより、しっかりと効果を確認しながら進めていきます。

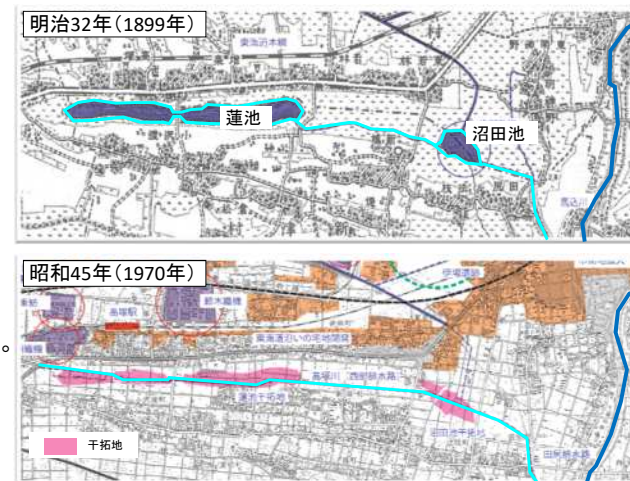
高塚川の成り立ち

高塚川流域は水が溜まりやすい**窪地地形**になっています。

明治32年頃は、“蓮池”と“沼田池”という池があり、水路を通じて馬込川と繋がっていました。

戦後、水田開発の為に蓮池や沼田池は干拓が行われました。その中で2つの池と馬込川を結ぶ用排水路として高塚川は整備されました。

※新橋1号排水路(高塚川)及び篠原15号排水路(西部排水路)を「高塚川」と表記します。



浸水原因

長時間雨が降り続き、**たくさんの雨**が降りました。

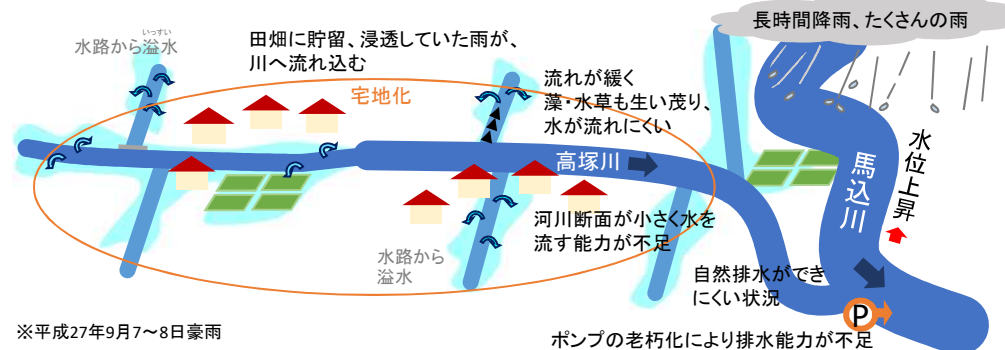
馬込川の水位が高く、高塚川からの**自然排水ができにくい状況**でした。

高塚川は農業用排水路として整備されたために、河川断面は小さく**水を流す能力が不足**していました。

高塚川の勾配は緩く、藻・水草も生い茂り**水が流れにくい状況**でした。

排水機場の**ポンプ**は老朽化して**排水能力が不足**していました。

宅地化が進んで、田畑に**貯留・浸透していた雨がすぐに、川へ流れ込む**ようになっていました。



※平成27年9月7～8日豪雨

ポンプの老朽化により排水能力が不足

目標

平成27年9月7日から8日と同規模の降雨に対し、

**5年後に床上浸水件数の半減、
10年後に床上浸水の解消を目指します！**



アクションプランの対策メニュー

流出能力の向上	馬込川の改修
	高塚川の改修(河床掘削)
	ポンプの更新(田尻排水機場)
	ポンプの増強(高塚川)
流出抑制	貯留施設整備(下水道施設)
	貯留施設整備(公共施設)
	馬込川の維持浚渫
	高塚川の維持管理(浚渫・草刈・藻の除去)
維持管理等	道路側溝汚泥の収集・処理
	排水機場の運転ルールの策定、適切な維持管理
	水源転換と逆流防止施設の整備(高塚川との合流点処理)
	市街化調整区域における集落制度に関する開発許可制度の運用基準の見直し
流出抑制	水田貯留
	地域防災力の向上(出前講座)
意識啓発	地域防災力の向上(避難訓練)
	土のうステーション事業
被害軽減	緊急時のポンプによる排水
	河川カメラ・水位計の増設・公開
情報提供	避難に関する情報提供
	風水害時の道路情報等を市民へ公開

ハード対策

ソフト対策

高塚川の河床掘削

維持管理 (浚渫・草刈・藻の除去)

川底を掘って、水を多く流せるように改修します。
草刈、藻・水草の除去をし、適切な維持管理をします。

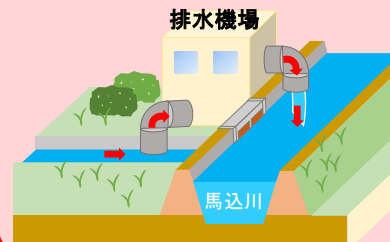


浚渫(しゅんせつ)・・・(川や海岸の)水底の土砂などをさうこと

排水ポンプの更新・増強

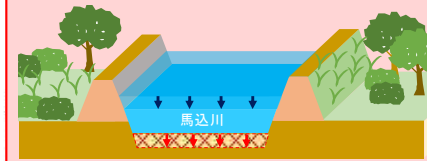
運転ルールの策定

排水ポンプの更新と増強をすることで、高塚川の水を馬込川へ多く排出するようにします。
効果的な排水をするための運転ルールを作り、適切な維持管理をします。



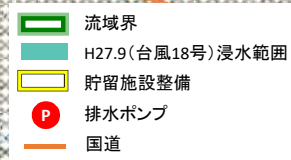
馬込川の改修

川底を掘って、水を多く流せるように改修します。



貯留施設整備

学校の校庭や公共施設に貯留施設を整備し、大雨時に雨水をためて、川に流れ込む水の量を減らします。



ソフト対策

意識啓発

地域防災力の向上



(出前講座)

風水害を想定した出前講座や避難訓練を住民の皆さんと一緒に実施することで、地域防災力の向上を図ります。

被害軽減

土のうステーション事業



土のうステーションを地域に設置し、自らの被害軽減を図ることへ支援・協力をします。

情報提供

河川カメラ・水位計の公開



河川状況・水位の変化をインターネットで公開し、避難判断材料を住民に提供します。

浜松市土木防災情報システム

河川水位、雨量計の情報や、河川ライブカメラ映像等を見ることができます。

<http://www.hamamatsu-dobokubousai.net/>

浜松市南部(馬込川下流域)総合的治水対策推進協議会

《アクションプランについてのお問合せ先》

➤ 浜松市土木部河川課(代表事務局)

〒430-8652 浜松市中区元城町103-2

TEL. 053-457-2451

Eメール: kasen@city.hamamatsu.shizuoka.jp

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/index.html>

発行 平成29年2月

